

やってみよう リングキャッチャーなど

ypc 例会 2018.12.16 船田優

千葉県のおもしろ物理研究班で発表しました。

①リングキャッチャーにまつわる話

片手でリングキャッチャーの方法

図 1、犬やキツネと言われる指の形をします。耳となる人差し指と小指にチェーンを掛けます。リングを水平にしてチェーン下から通します。口となる親指と中指でリングを支えます。

図 2、口を開くとリングが落下していき、上手くすればリングがチェーンにキャッチされます。(指とリング、チェーンとリングの接点が十字になっていれば、ほぼキャッチされます。)

以上が船田が紹介している片手で実施するタイプのリングキャッチャーです。初めて見たのは 50 年くらい前の映画の 1 シーン。スローモーションでした。今回これに対してアドバイスという名のクレームがありました。



図 1 リングをセット



図 2 リングキャッチ

クレーム「リングキャッチャーは両手で実施して成功する。理屈上片手では成功しない。理屈上成功しない現象を成功するようにやって見せるのはやめた方が良い。参考Nさんの本」

返答「理屈が現象を説明出来ないのなら、その理屈は捨て去り、現象を説明出来る理論を開発すべき。本末転倒な話。」

②「半分、暗い。」の紹介

9月まで朝ドラで「半分、青い。」が放送されていました。時事ネタで「半分、暗い。」というネタを雑誌「理科の探検」で紹介しました。

1枚目は任意の偏光シートを置きます。その上に1枚目に対し 45° 偏光した2枚目の偏光シートを重ねます。その上にさらに 45° 偏光した(1枚目とは 90° 偏光した)3枚目の偏光シートを重ねると1枚目と 90° 偏光した3枚目の2枚の時に比べ、暗さ(明るさ)が半分になるという物です。

青い偏光シートが販売されています。青い偏光シートで行うと、それこそ朝ドラと同じ「半分、青い。」となるかもしれません。

明暗に関連して、「半分、暗い。」は光の強度で比較可能と思いますが、「半分、青い。」状態は、物理的に何を比較すれば良いのか、測定器は何と疑問がわきました。色に詳しい人教えて下さい。朝ドラでは青空で象徴していた世の中が親友の死により半分になったと象徴的に表していました。



図 3 中央半分暗い状態